
活動の概要

2013 年度末に校舎移転を実施するため、ネットワーク等のシステム関係の調査や調整等を通年実施した。また、スマートフォン・タブレット端末の福祉分野での活用研究会を中心に名工大との共同での研究等を実施した。

学内での活動

1 システム委員会

学内ネットワークや、LMS、グループウェアに関する管理、業者等との定例会などに関わった。また、IAMAS 2014(卒展、期間 2/20~2/23)のネットワーク環境についてソフトピアジャパンの指定管理者・学生らと共に担当した。また、本学のセキュリティ関係の学内規程等についての見直しを実施し始め、来年度にあらためて完了する予定である。また、次年度の夏までの契約(H26.08.31)となっている現行のネットワーク保守業務延長などにも関わった。

2 研究委員会

外部資金獲得の意思やどう考えているかに関する教員への意識調査を行った。また、毎年恒例の科研費申請に関する案内をし、教員向けの申請促進等を行った。

3 ネットワーク契約の継続について

本学のネットワーク保守業務が H26 年 8 月となっているが、移転後すぐにシステム入れ替えをすることはシステム利用上の混乱が生じると考えられたため、1 年先送りして H27 年 12 月までの契約延長とすることとした。

4 ネットワーク等の移転に関する会議

校舎が領家町からソフトピア地区へ移転することになったため、システム関係、特にネットワーク機器の引っ越しに関わる仕様書等の作成に関わった。また、仕様書を作成するために、システム管理他、事務職員等で構成する移転会議を週一回程度開催し、学内の状況の把握や業者との打ち合わせ等を開催した。

学内外での活動

1 スマートフォン・タブレット端末を福祉分野での活用研究会（座長）

今年度は、岐阜本巣特別支援学校、希望が丘特別支援学校等も新たにメンバーとして参加いただき、障がい児教育現場での活動を中心に行った。主なテーマは以下の 4 つである。

- ・ 障がい児の就労支援向けのタブレッ



図 1 研究会の様子

ト端末アプリ（文科省平成 25 年度「民間組織・支援技術を活用した特別支援教育研究事業(特別支援教育に関する NPO 等の活動・連携の実践研究)」の一環として実施した。）〈岐阜本巣特別支援学校〉

- ・ 特別支援学校における OAK の活用支援〈希望が丘特別支援学校〉
- ・ 特別支援学校向け教育補助タブレットアプリケーションの再開発プロジェクト〈岐阜経済大学〉
- ・ 障がい者向け情報機器ロコミ共有プロジェクト

2 ATAC カンファレンス 2013 京都で発表

上記の研究会で実施して来た障がい児の就労支援向けのタブレット端末アプリとして進めて来た内容を中心に、ATAC カンファレンスのテーブルデモで発表[1]をした。

タイトル：「知的障がい児の職業体験教育におけるタブレット端末を用いた支援アプリの効用」

日時：2013 年 12 月 14 日（土）

場所：国立京都国際会館（京都市左京区宝ヶ池）



図 2 ATAC カンファレンス 2013 京都 テーブルデモの様子

3 「教育分野の IT 活用セミナー～岐阜県の実践事例から～」で発表

ATAC カンファレンスでは前半の内容であったが、今年度全体の就労支援の内容と研究会の紹介を口頭とデモで発表[2]をした。

タイトル：「知的障がい児の職業体験教育におけるタブレット端末を用いた支援アプリの効用」

日時：2014 年 2 月 21 日（金）

場所：ソフトピアジャパン センタービル 10F 大会議室



図 3 教育分野の IT 活用セミナーでのデモ発表の様子

4 第 11 回岐阜県障がい者技能競技大会（アビリンピック 2014）にてデモ展示

アビリンピックの会場にて研究会の活動紹介のデモ展示を実施した。

日時：2014 年 2 月 1 日（土）

場所：ソフトピアジャパン 3F ソピアホール

5 感性情報に関する研究（共同研究）

名古屋工業大学 中村先生、中京大学 加納先生らと共にロボットにおける感情をどのように捉えるか、ロボットと人間が共生するためのキーとなる感性情報を扱う手法等についての共同研究を行った。[3][4][5][6][7][8][9][10][11][12][13][14]

6 飛騨産業の受託研究

契約は昨年度末で終了しているが、一部のタスクに関して学生3名と取り組んだ。

7 看護系教育コンテンツ作成（共同研究）

看護系の中京学院大学の先生らとともに、タブレット端末を利用した教育コンテンツに関して調査等を実施し、次年度以降は本格的な事業として外部資金取得して継続して実施することとなった。

学外での教育活動

1 大垣市 IT 致道館校長

大垣市情報企画課が中心に行っている小学生向けのロボット講座の校長として参加し、子供達へのアドバイス等をした。

2 朝日大学歯科衛生士専門学校での講師

朝日大学歯科衛生士専門学校で、非常勤講師として「情報処理」の講義を担当した。

発表論文など

- [1] 山田晃嗣、松原多香音、藤井勝敏、篠田義人、太田秀昭、小川忠明、「知的障がい児の職業体験教育におけるタブレット端末を用いた支援アプリの効用」、ATAC カンファレンス京都、一般発表・テーブルデモ発表「活動実践報告」 pp94-95, Dec. 2013
- [2] 山田晃嗣「知的障がい児の職業体験教育におけるタブレット端末を用いた支援アプリの効用」教育分野の IT 活用セミナー～岐阜県の取組事例から～」にて口頭発表 22014
- [3] 北條宏季, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: オノマトペによる身体知の言語化, 人工知能学会全国大会, in CD-ROM, 2013.
- [4] 前田光泰, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: ロボットの能動的な身体接触を用いた情報伝達, 第 35 回東海フアジ研究会, pp.31-33, 2013.
- [5] 北條宏季, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣, 戸本裕太郎: 書字動作のオノマトペによる言語化の提案とその基礎的調査, 第 35 回東海フアジ研究会, pp.71-73, 2013.
- [6] 加藤健太, 加納政芳, 山田晃嗣, 中村剛士: 「萌え」の要素を導入したロボットアピランスのデザイン検討, 第 35 回東海フアジ研究会, pp.131-134, 2013.
- [7] 前田光泰, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: ロボットの能動的な身体接触による情報伝達, 第 31 回日本ロボット学会学術講演会, in DVD-ROM, 2013.
- [8] 北條宏季, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣, 戸本裕太郎: 身体知オノマトペによる筆記リズ

ムの言語化, 第 29 回ファジィシステムシンポジウム, in CD-ROM, 2013.

- [9] 加藤健太, 加納政芳, 山田晃嗣, 中村剛士: 「萌え」の要素を備えたロボットアピランスのデザイン検討, 第 29 回ファジィシステムシンポジウム, in CD-ROM, 2013.
- [10] 前田光泰, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: ラスト 1 フィートを補完する遠隔地コミュニケーション支援, ヒューマンエージェントインタラクションシンポジウム, 2013.
- [11] 堀陽介, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 音印象を用いた仮想エージェントのモーションデザイン, 第 36 回東海ファジィ研究会, pp.181-185, 2014.
- [12] 磯谷順司, 牧義人, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 筆記特徴の身体知オノマトペによる分類, 第 36 回東海ファジィ研究会, pp.171-172, 2014.
- [13] 杉本かい, 加納政芳, 中村剛士, 山田晃嗣: 進化計算を用いたロボットモーションデザインへの交叉オペレータの導入, 第 36 回東海ファジィ研究会, pp.71-72, 2014.
- [14] 古橋道彦, 牧義人, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: ロボットの能動的物理接触を用いた情報伝達, 第 36 回東海ファジィ研究会, pp.11-15, 2014.